

【第2報（最終）】東名集中工事 セーフティカー（散水車）から固定金具の落下の疑い

1. 発生日時 : 令和6年10月7日（月）14:30～19:00ごろ
2. 発生場所 : 東名高速道路
3. 工事名 : 2024年度 東名集中工事 █████ 管内維持業務
4. 受注者名 : 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
5. 概要 : 2024年度 東名集中工事において、セーフティカー（散水車）からパイプ類を車体に固定する金具（サイズ約7×16cm、厚さ数mm）が走行中に落下した疑いがあるもの。
6. 被災状況 : 名古屋第一基地のNo.3号車（散水車、█████）パイプ類固定金具のはずれ、パイプ類垂れ下がりのため運行停止。予備車（█████）に交換して対応済み。
7. 第三者被害 : 金属片の落下物、乗り上げ事象は報告無し（10月7日21:00時点、管理隊に確認）
8. 時系列 : 10月7日（月）
 - 14:30頃 セーフティカー、名古屋第一基地を出発（出発時の点検では異常無し）
（第一基地からのセーフティカーは、名古屋IC→小牧JCT→多治見IC反転→小牧JCT→東名三好IC反転→名古屋ICのルートで運行）
 - 16:00頃 名古屋第一基地へ帰着
 - 19:00頃 給油時に、パイプ類の垂れ下りを発見
 - 19:30頃 第一基地連絡員からメンテ本部（メンテ当番）へ第一報報告
 - 20:10頃 メンテ当番による車両確認
 - 21:00頃 メンテ当番からNEXCO本部（当番班長）へ状況報告
 - 22:20 第一・第二基地連絡員、規制保守班へ明日明るくなった後の巡回時には、金属片の落下物等が無いかに注意して走行するように依頼（⇒巡回結果、落下物なし）
 - 0:00 第一・第二基地連絡員へ、同じ車種のセーフティカーについて、出発時の触診点検を指示
 - 9:00 セーフティカー（散水車）を全車両点検する。セーフティカーの運用を散水車から自走式標識車に変更する。
 - 12:00 セーフティカー全車（8台）を標識車へ変更完了。
 - 13:00 散水車の使用を停止を決定。
10. 公表の有無 : -
11. 報道等 : -
12. 指導事項 : -
13. 原因 : 車両側のフレーム材と固定金具の溶接部が何らかの原因で外れ、固定金具がパイプによりぶら下がる状態となった。車両の走行により、固定金具と路面の接触により、パイプ側と固定金具を接続するボルト・ナットも緩んで外れ、固定金具自体も落下したと想定される。
14. 今後の対策 : 同型車両については、固定金具の触診点検を実施し、溶接部等に異常がないか確認する。車両管理会社（中日本高速オートサービス）及び製造メーカーに対して、点検、詳細な原因究明、再発防止をNEXCOが指示済み。点検完了まで使用は禁止とする。
15. その他 : -

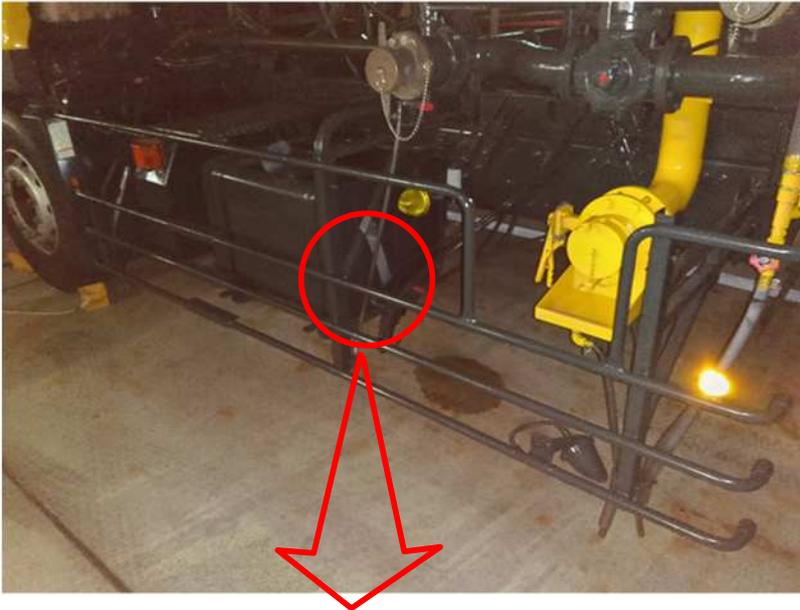


写真1(左): 散水車(左側)
 固定金具位置図(赤丸)
 ※写真の左側が車両前
 (運転席)
 ※白色のものは仮固定用の
 養生テープ



写真2(左上): パイプ類固定金具位置拡大
 固定金具(赤点線)が無い状態
 (白色の養生テープで仮固定中)
 写真3(右上): パイプ類の垂れ下り状況
 (白色の養生テープの固定を外した状態では、
 路面には届きそうな状態となる)



写真4(上): 固定金具位置
 外枠の内側(固定金具が溶接
 されていた跡、穴があいた状態)



写真5: (参考) 同型車両の固定金具(赤点線)